

編集業務のペーパーレス化について

出版編集業務のペーパーレス化を進めるにあたって
最低限どのような機器やソフトウェアが必要なのか解説します。
また当社のオンラインサービスについてもご案内します。



iPadとApplePencilを使った自宅での作業イメージ

大型の液晶タブレットを活用したペーパーレス作業環境

■ペーパーレス、オンラインのメリット

カーボン・オフセットやSDGsなどの環境問題が関心を集める今日、業務のペーパーレス化も加速しています。また、新型コロナウイルスの影響で働き方が多様化し、テレワークやシェアオフィスが普及しました。SlackやTeamsなどビジネスチャットを導入する企業が増え、入社しなくても社内と同じように仕事ができる環境が整っています。

出版業界においても編集業務のペーパーレス、オンライン化により、以下のような効果が期待できます。

- ・プリント経費削減、環境に優しい
- ・自宅やシェアオフィス、遠隔地でも作業できる
- ・複数の人間が校正紙を同時に閲覧できる
- ・校正の履歴が確認できる

■ペーパーレス化の問題点

ペーパーレス化には同時にデメリットもあります。実物の校正紙がないことによる問題としては、正確な色調確認ができないことです。ディスプレイの色味は周りの環境光や設定により異なります。写真の色味確認を行う場合は、やはり必要に応じてカラーマネジメント済みのプリントやインクジェットDDCP、本紙色

校正を取ることをお勧めします。

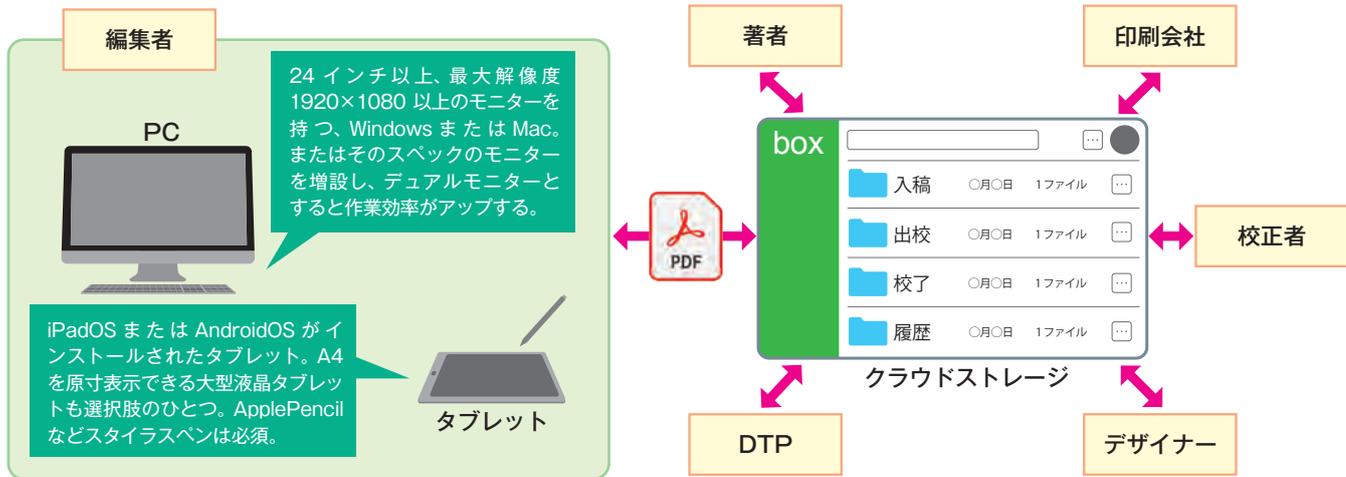
また、書籍全体を通してノンブル等の体裁が揃っているか確認するには、ディスプレイよりも紙の校正紙が向いています。当社ではページが通った段階でプレシップ検査（MCR Vol.61参照）を実施し、ノンブルや柱、インデックス等の位置が正しいか、編集者にかわって確認しています。

加えてオンライン化にはセキュリティ面の懸念があります。企業のイントラネット内であれば、ある程度のセキュリティが担保されますが、自宅のネットワークはその限りではないため、データ消失や情報漏洩等のリスクに常に備えておく必要があります。なるべくPDF等を個人端末にダウンロードせず、オンライン上で校正を完結させるシステムが安全です。

現在、様々なオンライン校正システムがリリースされていますが、中には導入コストやランニングコストの負担が大きいもの、必要以上に多機能でかえって使い勝手が悪いものもあり、どのサービスを選ぶかも問題のひとつかもしれません。

裏面ではオンライン化に必要な基本設備と標準的なワークフロー、また当社のオンライン校正サービスについてもご紹介します。

■基本設備とワークフロー



データのやり取りはPDFが基本となります。その理由はなんといっても無償で使えるAcrobat ReaderとAcrobat Webの存在です。プリインストールされているPCも多く、誰でもPDFを取り扱うことができますし、またAcrobatには校正指示を書き込むツールが充実しています。タブレットとスタイラスペンがあれば、手書きと同じ感覚で赤字指示が入れます。

オンライン校正に必要な環境は、上図に示すようなハードウェアに加え、Acrobat、限定された複数のス

タッフがアクセスできるクラウドストレージがあれば十分です。

ストレージの中身は「入稿」「出校」といった発信元でフォルダ分けしたり、「初校」「再校」「校了」など校正レベルで区分したり、制作スタイルに合わせて自由に設定することができます。それらのフォルダに原稿や出校物を出し入れするルールを、著者、デザイナー、校正者など制作に携わるスタッフ全員で共有し作業を進めます。

■明昌堂のオンライン校正サービス

当社では、クラウドストレージである明昌堂boxサービスを提供しています。当社へDTP作業を発注いただいたお客様でしたら無料で利用いただけます。

修正指示を入れる際には、ブラウザからAcrobatの機能が使えます。これはOS (Win/Mac) 問わず使えますし、AcrobatがPCにインストールされている必要もありません。

またboxにはモバイルアプリもあり、タブレットを使用して外出先で校正を確認したり赤字を入れたりすることが可能です。

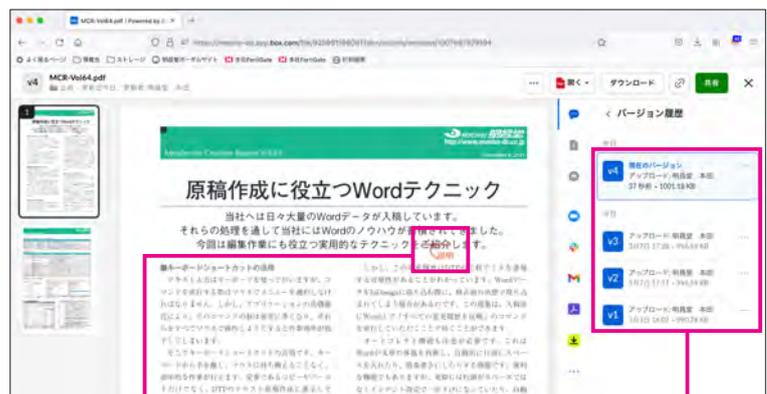
boxサービスにはデータの履歴管理機能があり、box上でPDFを編集し同じファイル名のまま保存しても、自動で履歴が残されるため編集前の状態を後から確認することができます。

校正はPDFデータですので、当社のPDF加工技術を使い、特色の色味を再現したPDFや学習参考書の解答を削除したPDFなどを出校

することも可能です。(MCR Vol.46参照)

お客様が要望するワークフローに合わせたフォルダ階層などのカスタマイズも当社で承ります。

サービスの利用にあたっては、申請が必要となりますので担当営業までご用命ください。簡単な操作マニュアルもご提供します。



クラウドサービス上でAcrobatの機能を使い修正指示を入れることができます。

同じファイル名で保存すると自動的に履歴が残り、変更前の状態を確認することが可能です。